

焼却飛灰の再利用に関する研究

発表者 (ゴシック 10.5ポイント 右詰め, 連名の場合は発表者名の前に○印)

○榎間由幸 米子工業高等専門学校 准教授  
富田辰幸・松本明 株式会社 大協組

概要 (200字以内, 明朝 10.5ポイント)

私たちが生活を営み、生産活動をすれば必ずごみ(廃棄物)が発生する。ごみ問題は現代社会にとって早急な解決が求められている重要な問題である。廃棄物は処理され無害化された後、埋め立てられる。いわば、お金をかけて廃棄していると言える。本研究では、却灰の無害化の他、有効利用法として、汚水の浄化について検討を行った。

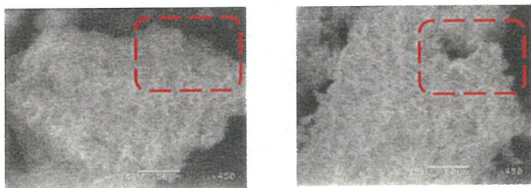
(研究内容を記載してください。『目的』、『方法・手法』、『結果』、『まとめ』等を分かりやすく記載してください。図・写真等を持ちいて、できるだけ一般の方にも分かり易い文章で。)



### 汚水の浄化

濁度計により計測  
浄化前 55.0  
浄化後 0.2  
(水道水 0.0)  
注意  
曇汁等: 55.0

### エコソイルRを用いた汚水処理



処理前では、微細な細孔が見られたが汚水処理を施した後は詰まっているのがわかる。

### 結論

- 1) エコソイルRに存在する細孔を利用することで汚水を浄化することができた
- 2) エコソイルRの作成工程(温度等)を変更し細孔の大きさを調節することができれば、様々な汚水対応が可能と考えられる

【特許登録／出願情報】 発明の名称:

発明者:

【来場者へのメッセージ】

家庭ゴミ以外にも多くの未利用物質が存在します。米子高専・榎間研究室では梨・レモン等の果実(精油), 木材などのリグニンの溶解についても研究を行っています。詳しくは HP をご覧ください!

連絡先: 米子工業高等専門学校 准教授 榎間 由幸

米子市彦名町4448 TEL. 0859-24-5155 E-mail: uruma@yonago-k.ac.jp

分野 鳥取県環境学術振興事業

プレゼンタイム

有 (無)